

# 虹

(二十九)

2月号

平成 22 年  
02 月 22 日発行  
担当者  
福村朝世  
(駒込 1 年)

検索しても、上部にでます。

## NEWS

### 年度末公演

年度末公演を 2010 年 3 月 31 日(火)に、舞台芸術学院さんにて、行います。詳細は後に「せんたりんく」にてお知らせするので、是非ご参加ください。

### 春季発表会

春季発表会を 2010 年 4 月 18 日(日)に、都立向丘高校にて、行います。皆さん、是非参加してください。(発表会終了後にはステーションの実行委員会も行われます。)

### ステーション⑭

2010 年 4 月 29 日(木・昭和の日)、駒込高校にてステーション⑭が行われます。他地区の参加も、大歓迎なので是非ふるってご参加ください。詳細・要項は中央地区HP「せんたりんく」をご確認ください。

※「せんたりんく」→ <http://centerlink.chu.jp/>

Yahoo! や Google などで、「せんたりんく」と

### ☆今月の特集☆

役者なら、どのように演劇というものが創られてきたか、知つていたほうがいいんじゃないでしょうか。という事で...

今月の特集は、演劇の歴史について、重点的な部分だけ、簡単にわかりやすく説明してみたいと思います。自分もあんまり詳しくないんですが、調べてきたんで、多分大丈夫です！でも、万が一間違つた情報が記載されている場合もあるんで、気づいたら、そつと教えてください(笑)。

#### 【西洋演劇の歴史】

そもそも演劇というのは、どのようにして創られたのか。

演劇は古代ギリシアにはすでに、存在していたが、その起源というものが、いまだに解明されていない。宗教的祭祀が発展したものではないかと考えられてまるが、歴史を調べるにおいて決してはずせないのは「ギリシアの悲劇」です。では、その「ギリシアの悲劇」について、見てみましょう。

#### 【ギリシアの悲劇】

「ギリシア悲劇」が誕生した時代は、実に裕福な時代でした。

今から約2500年前、「ペルシア戦争」に勝利したアテナでは、「五十年時代」と呼ばれる平和な時代に入り、彼らの想像力が爆発したのです。

彼らは悲劇を上演してその出来栄を競う、「アゴーン」というコンテストを行っていたのです。ギリシア悲劇の二大詩人、アイスキュロス、ソフォクレス、エウリピデスは、同時代にこのアゴーンで競っていました。

しかし、この時代には、まだ今の演劇の形態はありません。劇作家が歴史や神話を元に叙事詩を書き、それを舞台上で語る、というのが通常の上演方法でした。

そこで、アイスキュロスは、より観客に高い感銘を与えようと、2人の役者の対話形式を生み出しました。これが、現代の劇形式となるのです。ソフォクレスは舞台上上がる役者を3人に増やし、自らが舞台上上がることを止め、対話を複雑化しました。2人で話しているところに、第3者の目を置くことで、より濃密な空気をも出し出し、自分の表現したいものをより強く描き出すという手法を生み出したのです。

そして、エウリピデスは、さらに役者を増やしました。また、それだけではなく、劇の内容自体にも変化をもたらしました。ライバルのアイスキュロスやソフォクレスが神話を取り上げていたのに対し、彼は人間そのものを取り上げました。これによって、自分自身の中にも潜んでいる嫉妬や憎悪といった人間的な感情を描き、より多くの人々の感銘を得たのです。

このように、彼らはより人々に自分の意見を伝えようと、その表現方法に工夫を凝らしてゆきました。これが、演劇の始まりとなったのです。

### 【まとめ】

だいぶ、あらっぼくまとめてしまった感があるんですが、しかたないですね。自分もあんまり理解できてません。

でも、皆さんも演劇の歴史というものに興味をもったんではないでしょうか？ 今回は、「悲劇三大詩人」というものをあまり詳しく説明しなかったのですが、気になった人は本などでも詳しく書かれているので是非読んでみてはどうですか？

でも、このことを最初に知ったとき、私は仰天しました。

なにせ、何千年もの昔の人が演劇を創っていたなんて、知りもしなかったからです。演劇の歴史は他にも色々あります。西洋だけではなく、日本の演劇の歴史などもあります。興味がある人は是非、そちらも調べてみてはどうでしょうか？

あなたの劇になにか変化があるかもしれません。